

令和4年度議会運営委員会管外行政視察報告書

- 1 視察日時 令和5年1月12日（木）、1月13日（金）
- 2 視察先 【1日目】 三重県松阪市
1月12日（木） 午後2時～午後3時30分
【2日目】 愛知県大府市
1月13日（金） 午後1時30分～午後3時
- 3 視察事項 ア 各市独自の調査事項
【松阪市】『議会のトリセツ』について
【大府市】『オンライン視察の実施』について
イ 共通調査事項
『議会活性化への取組み』 議員研修、所信表明演説、議員報酬
- 4 視察目的 本市議会においては、平成25年6月に市議会の要となる議会基本条例を制定し、条例事項の実践に努めているが、令和4年4月に行われた市議会議員選挙から議員定数が22名から2名減の20名となり、議員一人ひとりの責務が一段と重くなっている。今後、市民に対してより一層開かれた市議会となるよう、議会の活性化に向けた取組みについて先進市の事例を研究し、本市議会の基礎とするものである。
- 5 参加者 《議会運営委員会》（6名）
委員長 永 富 靖
副委員長 名 村 嘉 洋
委員 船 引 宗 俊
委員 和 田 美 奈
委員 野 本 利 明
委員 三 木 浩 一
《議長》 楠 明 廣
《随 行》
議会事務局 副局長 堀 謙一郎
- 6 視察先出席者
【松阪市】 松阪市議会 山 本 芳 敬 議長
" 久 松 倫 生 議会改革特別委員長（オンライン）
" 楠 谷 さゆり " 副委員長
【大府市】 大府市議会 早 川 高 光 議長
" 山 本 正 和 議会運営委員長
大府市議会事務局 野 崎 雄 介 議事係主任

7 行政視察内容

【松阪市】

- (1) 松阪市議会 歓迎のあいさつ 松阪市議会 山本議長
- (2) 永富議会運営委員会委員長 あいさつ
- (3) 調査事項の説明 説明員：山本議長・久松委員長・楠谷副委員長

《議会のトリセツについて》

- 市民に開かれた議会への取組み
 - ・平成29年市議会議員選挙が最低の投票率であったことから危機感を抱き、議会に関心を持ってもらうため作成
 - ・見学の小学生や行政視察等の手引書として活用
 - ・4年ごとに見直し

《議会活性化への取組み》

- 平成22年 議会改革検討委員会設置
- 全議員から127項目の問題点、改善項目が提出
- 《提言》
 - ・議案に対する議員個人の賛否の公表 市議会だより、市議会HPで公表
 - ・一般質問方式の選択制導入 総括方式、一問一答方式、分割方式
 - ・決算審査の分科会方式の導入
 - ・議員の審議会等委員への就任辞退
- 平成23年 議会改革特別委員会に引き継ぎ
- 議会からの情報発信 ケーブルテレビ、インターネット
- 議会報告会 年2回の開催
- 市長による政策等の説明
 - ・議案に対する施策等の説明資料の充実
 - ・主要な事業については詳細な資料の提出
 - ・当初予算については議会前日に予算説明会を開催
- 議員定数
 - ・平成28年 議員定数のあり方調査会設置
 - ・28名が妥当との結論
 - ・市民との意見交換を行い、市民からも妥当との意見
- 議会報告会
 - ・年2回開催 1班7人 4班体制
 - ・1部で定例会報告及び質疑応答、2部で市民意見交換会
- 政策討論会
 - ・委員会ごとに実施することにより活発化
 - ・総務企画委員会において8回の会議を開催し、市長に提言書の提出を行った
- その他の取組み
 - ・令和3年9月定例会よりタブレット端末を導入し、完全ペーパーレス化
 - ・長期欠席議員の報酬削減の条例案を今年度中に形になるよう取り組んでいる

(4) 質疑応答

《議会のトリセツについて》

問) 中学生が議会を傍聴している写真が掲載されているが、中学生が傍聴に来た経緯は？

答) 議場見学に来た中学生を撮影したもので、気軽に傍聴に来ていただくとの意味合いで掲載している。

問) 見学に当たって、学校、教育委員会との連携は？

答) 事務局に申請をいただいている。8月には中学生議会を計画している。市内11中学校から2名ずつ出ただき、広報公聴委員が質問に答えていく。

問) 「議会のトリセツ」により中学生が関心を持ち、中学生議会に繋がるため、トリセツは大事であると感じた。

答) 松阪市出身の西野カナの歌の題名から命名した。基本的には小学5年生でも読んでいただける物語を作って議会を認識してもらおう。

《議会活性化への取組み》

①議員の倫理について

問) 当市の周辺自治体でも議員倫理の低下が懸念されている。国会議員にも長期間に亘って登庁しない事例もあるが、そういった対応についてはどの程度進んでいるのか？

答) 長期休暇議員への対応については色々な形があるため、作業部会で検討しているところである。議員倫理については、松阪マラソンに顔写真入りの旗を持った議員が参加した。道義的な問題や公職選挙法に抵触する虞、新聞への掲載、市民からの投書等もあったため、要綱に規定はないが、議長から注意をした。

②議長選における所信表明について

問) 所信表明で質問ができるかとあるが、どのような状況か？

答) ここ3、4年で質問はなくなってきた。立候補も複数あったが、ここ数年は立候補者が一人であっても議運で指名推薦か投票かを図り、投票としている。質問は、所信表明の内容について行っている。

③議会報告会について

問) 議会報告会をどのような体制で行っているのか？

答) 以前は異なった委員会の委員で班を構成していたが、現在は委員会で構成し、委員会に関するテーマで実施している。

④政策討論会について

問) 政策討論会について、政策提言まで至った事例はあるのか？

答) 委員会ごとに実施することにより、活発に実施できるようになった。

市民からの意見をもとに、総務企画委員会で移住促進をテーマに実施をし、市長に提言書を提出した。

⑤議会だよりについて

問) 表紙に高校生のイラストを採用していたが、今回写真に変わった意図、経緯は？

答) 松阪工業高校漫画研究会に依頼していたが、市内の他の高校にも声掛けをし、飯南高校美術部から掲載承諾があった。松阪工業高校年3回、飯南高校年1回で計画している。

⑥女性議員について

問) 女性議員が多いが、意識改革みたいなものがあったのか？

答) 私見だが、松阪にはオープンというか、女性だからとかではないような雰囲気

気があることは確かかと思う。平成生まれの議員もおられるし、立候補しやすい雰囲気はあるのかと感じている。議会でも多様な議員を増やそうといった取り組みや議員の中でも女性中心の勉強を行っている。松阪市は市民活動が活発で、市民活動センターへの登録が三重県で一番多い。そのリーダーに女性が多いのも要因の一つかもしれない。

問) 古い考えだが、女性が立候補するとなると家族の反対などの壁はあるのか？

それとも普段の活動があるから大丈夫ということか？

答) 人それぞれかと思う。

(5) 名村議会運営委員会副委員長 あいさつ

【大府市】

(1) 大府市議会 歓迎のあいさつ 大府市議会 早川議長

(2) 永富議会運営委員会委員長 あいさつ

(3) 調査事項の説明 説明員：早川議長・山本議会運営委員長
議事課 野崎主任

《オンライン視察の実施について》

○令和2年のコロナ禍以降、議運で調査研究を行ってきた。

①政務活動費で行う視察・研修

- ・令和2年度に見直しを実施し、オンラインでの視察、研修も対象とした。
- ・手土産の送付は各会派の判断とし、費用は私費対応
- ・見直し後の研修受講の実績は5件、研修視察の実績は0件

[メリット]

- ・移動、訪問が憚られる場合の代替手段
- ・日程の都合で参加できなかった研修にも参加できる可能性

[デメリット]

- ・ワークショップのような小規模の研修には不向き
- ・受講者の反応がつかみにくい

②議員派遣、委員派遣で行う視察・研修

- ・派遣先を「訪問先」から「大府市内」に変更するよう整理
- ・委員会視察の実績は4件
- ・委員会室に集合して実施
- ・「Zoom」ソフトを使用
- ・委員派遣による視察と同様の扱い

[メリット]

- ・移動、訪問が憚られる場合の代替手段
- ・移動に時間がかからないので、日程の都合がつけやすい。

[デメリット]

- ・現地現物で確認できず、訪問したことがない市町では雰囲気がわからない。
- ・聞き手の反応が確認できないので、コミュニケーションが難しい。

③オンラインで行う委員会

- ・出席対象者が多い、採決に課題が多い、傍聴希望者への対応等課題が多い。

④オンラインで行う協議

- ・正式な委員会とは異なり、議員と事務局で完結できる。
- ・会派代表者会議等で活用できないか調査研究中

- ⑤オンラインで行う会派の会議
・夜間等を実施した事例はある。

《議会活性化への取組み》

○議員研修

- ・H23の一般選挙で2名の逮捕者が出たことが契機
- ・政治倫理研修を市議会主催で任期中に1回開催
- ・政治倫理要綱を見直し、政治倫理条例を制定
- ・立候補予定者に対して公職選挙法に関する研修
- ・議員向けのコンプライアンス小冊子を全議員に配布
- ・コンプライアンス小冊子の著者による研修を実施

○議長選における所信表明演説

- ・2年に1度の正副議長選の際に、直前の全員協議会で実施
- ・見直しの議論は行われていない。
- ・課題は、正副議長とも職務の性質から所信表明の発言内容に限界がある。

○議員報酬

- ・毎年特別職報酬等審議会が開催される。
- ・H26、H29に引き上げの答申
- ・他市との比較は行うが、議員報酬の額について議論することはない。
- ・議員の成り手不足が顕在化している状況ではない。
- ・常任委員長、議会運営委員長に加算

○政務活動費

- ・調査研究費、研修費、資料購入費、事務用品費の4項目が対象
- ・年間一人当たり10～15万円程度を使用

(4) 質疑応答

《オンライン視察について》

問) 議員派遣、委員派遣で、派遣扱いは何か変わるのか？

答) 議員の公務は、本会議、委員会、会議規則に定めた協議等の場、議員派遣、委員派遣の手続きをしたものの5種類である。議員派遣、委員派遣の手続きをすることにより通勤途上の災害にも補償ができる。

《議会活性化への取組み》

①政治倫理条例について

問) 政治倫理条例制定後、違反審査請求はあったのか？

答) 制定前に1件、兼業禁止に抵触する案件があった。

問) 条例化が抑止力になっているのか？

答) 私見だが条例化されたことにより、世の中の意識が変わってきたと思う。環境が変わってきたことにより違反が起きなくなった。

問) 条例は必要か？

答) 何か起きたときに手続きに基づいて処理できることは心強い。

②議長選における所信表明について

問) 議長選が1名でも所信表明は必要か？

答) 自分の考えを自分の言葉で表現することは大切なことである。

③議員報酬について

問) 議員報酬を増額した経緯は？

答) 議会から報酬を増額、減額するという話はここ10何年していない。これま

での増額についても、報酬審議会からの提案である。

問) 報酬審議会から議会に対して増額の提案があったのか？

答) そのとおりである。

問) 報酬審議会は必ず開かれるのか？

答) 毎年事務局に資料一式の提供依頼がある。報酬審議会の2年の任期中に開催されないことはなく、据え置きの方が多い。

問) 議員定数削減等の取組みを見て増額されているのか？

答) H27の増額は、議員定数削減が考えられる。H29の増額は、H28に委員会から条例を2本提出したこと、またテーマ活動の実施状況を審議会委員が評価したからと聞いている。

④女性議員について

問) 女性議員が多く、一般質問でも「男性も輝く大府市であるために」との質問があったが、そのような土壌があるのか？

答) 女性議員は、10年前3人が8人まで増えている。私見だが、女性に優しい生活環境になりつつあるからと感じており、①名古屋市までJRで15分で、子育てしながら働くという環境が女性の意識にプラスになっている。②市内にトヨタなどの工場があり、第2次産業が4割超で安定雇用の労働者が多い。③土地区画整理事業などの社会的な流入政策が生活環境にプラスに働いている。等が女性が立候補しようという理由になっていると推察する。

(5) 名村議会運営委員会副委員長 あいさつ

8 視察結果について

【松阪市】

《所感》

松阪市では、平成29年の市議会選挙の投票率が低かったことから危機感を抱き、市民に議会に関心を持ってもらうため、「議会のトリセツ」の作成に取り組んだ。中学生が議会傍聴する写真の掲載、松阪市出身歌手のヒットソングの題名から命名するなど中学生が関心を持つような工夫がされており、今年8月に計画している中学生議会に繋がると思われる。また、議会だよりにおいても表紙を市内の高校生が描くなど、中高生が議会と関わりを持つような取り組みを行っており、本市においても市民が議会に関心を持ってもらう手法として参考となるものと考えられる。

【大府市】

《所感》

大府市では、令和2年のコロナ禍を契機として、議会運営委員会に置いてオンライン会議等の調査研究を進めてきた。令和2年には政務活動費の申合せ事項を見直し、オンラインでの視察、研修に政務活動費を使用できるようにした。また、委員派遣による視察については派遣先を大府市内とし、4件の実施事例がある。オンラインで視察を行うメリットは、訪問が憚られる場合の代替手段として、また日程の都合が付けやすいなどがある反面、現地現物で確認ができない、雰囲気はわからない、聞き手の反応が確認できないため、コミュニケーションが難しいなどのデメリットが考えられるため、ICT化推進の一環として本市で実施するに当たっては、調査研究が必要と考えられる。